

## ニホンザル管理事業実施計画書

令和3年度ニホンザル管理事業実績報告書(県実施分)	・・・	p 3～8
令和4年度ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)	・・・	p 9～12
令和5年度ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)	・・・	p 13～16
令和3年度ニホンザル管理事業実績報告書(市町村分)	・・・	p 17～28
令和4年度ニホンザル管理事業実施計画書(市町村分)	・・・	p 29～40

令和4年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和3年度

ニホンザル管理事業実績報告書(県実施分)

令和4年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和3年度ニホンザル管理事業実施計画の実績と評価

宮城県

R3計画		R3実績		評価
1	<p><b>被害防除対策</b></p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防除総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防除体制への支援、指導。</p>	<p><b>被害防除対策</b></p> <p>(1) 農業被害額は477万円(速報値)となり、過去3年間の平均626万円を下回った。</p> <p>(2) 鳥獣被害防除総合支援交付金等により13事業実施主体における捕獲等の取組を補助した。 (仙台市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町、丸森町、山元町、大和町、色麻町)</p> <p>(3) 交付金の活用や被害防除計画の更新等について支援、指導した。</p>	<p>【農産漁村なりわい課】 農作物被害の軽減に向けて、引き続き被害防除対策の推進・支援を行う。</p> <p>【農産漁村なりわい課】 効果的な被害防除対策の実施となるよう、引き続き被害防除体制整備への支援、交付金による補助及び研修会等による対策の推進を図る。</p> <p>【農産漁村なりわい課】 引き続き、交付金の活用等について指導、支援を行う。</p>	
2	<p><b>個体数管理</b></p> <p>(1) 鳥獣被害防除総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準にあてはめ、群れの評価を再検討する。</p>	<p><b>個体数管理</b></p> <p>(1) 鳥獣被害防除総合支援交付金により、13事業実施主体における有害捕獲やわな購入、研修会開催等を補助した。 (仙台市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町、丸森町、山元町、大和町、色麻町)</p> <p>(2) 群れの再評価等 令和2年度の調査結果も踏まえ、評価基準にあてはめ、9群を再評価した。また、市町村の調査結果により、5群を見直した。</p>	<p>【農産漁村なりわい課】 効果的な被害防除対策の実施となるよう、引き続き被害防除体制整備への支援、交付金による補助及び研修会等による対策の推進を図る。</p> <p>【自然保護課】 捕獲圧などにより、評価が高くなった群れが増えた。</p>	
3	<p><b>生息環境管理</b></p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防除対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p>	<p><b>生息環境管理</b></p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、研修等は中止となった。</p>	<p>【農産漁村なりわい課】 計画通りに実施できなかったが、引き続き各地域での被害対策の取組の推進に努める。</p>	

R3計画	R3実績	評価
<p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p>	<p>(2) 森林整備に活用できる補助事業の情報をホームページに掲載し、周知を図った。また、各種関連会議の場で事業に関する情報提供を行った。</p> <p>(3) モニタリング調査 生息状況調査 ・県内の群れの遊動域が変動していることが判明し、ポピュレーション図を修正した。 ・調査結果から、令和3年度現在で県内63群、群れ個体数2,532頭が生息していると推定された。 ・なお、全頭捕獲により消失した1群(仙台・川崎「秋保大滝B群」)と、新たな群れとして「斎川A群」「斎川B群」の2群が確認された。 被害状況調査 ・GPS首輪を用いた行動追跡調査の対象群を10群とし、個体捕獲・装着に努めたが、捕獲圧などで人への警戒感が高まった群れもあり、装着できたのは4群となった。</p> <p>捕獲状況調査 ・県全体で234頭、前年比44%減と大きく下回った。</p>	<p>【森林整備課】 引き続き、補助事業等の周知を図り、農地周辺の未整備森林の解消を支援していく。</p> <p>【自然保護課】 群れの変動については、引き続き調査を続けることで把握に努めたい。</p> <p>【自然保護課】 群れの警戒感が高まったこともあるが、被害抑制と遊動域の把握のため、引き続き調査を行っていく。</p> <p>【自然保護課】 被害の抑制と併せて、今後も維持したい。</p>
<p>4 その他 (1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象15市町) ※ R元.10未時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p>	<p>4 その他 (1) サルを対象鳥獣とする7市町について、計画の更新を支援した。 (気仙沼市、角田市、登米市、大崎市、川崎町、松島町、色麻町)</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国の研修等への職員派遣は中止となった。</p> <p>(3) 地方振興事務所で地域連携会議等を開催した。</p>	<p>【農産漁村なりわい課】 適正な計画内容となるよう、引き続き計画の作成及び変更を支援する。</p> <p>【農産漁村なりわい課】 計画通りに実施できなかったが、引き続き各地域での被害対策の取組の推進に努める。</p> <p>【農産漁村なりわい課】 近隣市町村との情報共有等の強化を図るため、引き続き連携会議等により広域的な被害対策を推進する。</p>

R3計画	R3実績	評価
<p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p>	<p>(4) ・できるかぎり加害個体のみ捕獲するよう、市町村と協議を進めていたが、全頭捕獲により、1群の消失が認められた。          ・また、捕獲圧によって群れが縮小し、人を恐れるようになったため、個体数調査などが不十分となった群れが複数あった。</p>	<p>【自然保護課】          捕獲圧が高まったことなど、目視確認しづらい群れも出始めた。</p>
<p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p>	<p>(5) ・山形県とは、県境の越境の可能性がある群れの特定が難しいとのことから、当県の調査状況を説明した。          ・福島県とは、ニホンザルの農林産物被害に関しては、他の野生鳥獣ほど有害との認識は弱いとの認識が示され、当県の調査状況を説明した。</p>	<p>【自然保護課】          ポジションの変遷は引き続き調査するもので、情報提供を含めて連携を続けていく。</p>
<p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要なことから、実施状況についてホームベージ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じ普及啓発を図る。</p>	<p>(6) ・必要に応じて、市町村関係課との意見交換を行った。          ・併せて、説明に必要な資料などを、調査受託者に作成を支援してもらった。          ・七ヶ宿町では、一部、飼料を漁る群れへの対策が不十分な酪農従事者がおおり、危機感が薄いため、説得を続けてもらっている。</p>	<p>【自然保護課】          人馴れした群れもいるが、被害が抑制傾向にあることから、継続性をもつた対策の懸念感は共有している。</p>
<p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。          イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会</p>	<p>(7) ・令和3年8月25日(水)1回目実施。次期計画策定案の協議          ・令和3年12月16日(木)2回目実施。次期計画案の協議</p>	<p>【自然保護課】          第五期管理計画の策定には委員から様々な意見を賜り、完成に至った。</p>
<p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会          管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p>	<p>・第五期宮城県ニホンザル管理計画については、これまで過去3か年の被害額を下回ることとした目標設定をやめ、実施計画を策定する市町への助言を行い、県全体の捕獲数と農林産物被害の低減化の継続を目指すこととした。          ・毎年度実施している県の調査結果を反映させるよう助言を受けて、次期管理計画策定案の了承を得た。</p>	<p>【林業振興課】          生産者のニーズに応じて引き続き、被害防止技術等について情報提供する。</p>
<p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>(8) 県内各地に配置されている林業普及指導員等が、普及活動を通じて、被害防止技術の情報提供を行った。</p>	<p>【林業振興課】          生産者のニーズに応じて引き続き、被害防止技術等について情報提供する。</p>





令和4年度

ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)

令和4年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和4年度ニホンザル管理事業実施計画(案)

宮城県

※赤字はR3計画からの変更箇所

R3計画	R4計画	備考
<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:長期的な低減を目指すため、最低でも前年度の被害額を下回るよう、各市町村の目標額について裏現可能な助言等を行う。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p>
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準にあてはめ、群れの評価を再検討する。</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データのほか、新たに分裂・合流した群れ及び評価時期の古い群れの評価を再評価を検討する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p>
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p> <p>(3) イ モニタリング調査 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p> <p>(3) イ モニタリング調査 生息状況調査 現地調査及び地域住民、市町等の関係者からの聞き取りとGPS等電波発信機装着個体の追跡等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS等電波発信機装着個体及び属する群れの行動追跡調査を実施し、遊動域の変化や利用環境の特性等について解析を行う。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p>

R3計画	R4計画	備考
<p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p> <p>4 その他 (1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象15市町) ※ R元.10末時点 (2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。 (3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。 (4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。 (5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。 (6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要ことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じ普及啓発を図る。 (7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。 ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。 (8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p> <p>4 その他 (1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象16市町) ※ R3.4末時点、高倉山B群の想定遊動域「大和町」追加 (2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。 (3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。 (4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、県の調査及び群れの評価データを提供し、市町村間の調整や、被害防除を優先した計画策定の支援や助言を行う。 (5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。 (6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要ことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、市町と協力して、鳥獣被害対策関連行事を通じた普及啓発を図る。 (7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル管理計画の内容及び新たな指標に基づく関係市町の実施計画策定とその内容に基づいて、分析・評価の見直し等を行う。 ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会で管理計画が見直された場合は、その内容について実行方法等を検討し、関係者の合意形成を行う。 (8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>自然保護課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>林業振興課</p>

令和5年度

ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)

令和4年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和5年度ニホンザル管理事業実施計画(案)

※赤字はR4計画からの変更箇所

宮城県	R4計画	R5計画	備考
<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:長期的な低減を目指すため、最低でも前年度の被害額を下回るよう、各市町村の目標額について実現可能な助言等を行う。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:長期的な低減を目指すため、最低でも前年度の被害額を下回るよう、各市町村の目標額について実現可能な助言等を行う。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:長期的な低減を目指すため、最低でも前年度の被害額を下回るよう、各市町村の目標額について実現可能な助言等を行う。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p>
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまでに収集された評価データのほか、新たに分裂・合流した群れ及び評価時期の古い群れの再評価を検討する。</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまでに収集された評価データのほか、新たに分裂・合流した群れ及び評価時期の古い群れの再評価を検討する。</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまでに収集された評価データのほか、新たに分裂・合流した群れ及び評価時期の古い群れの再評価を検討する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p>
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地域住民、市町等の関係者からの聞き取りとGPS等電波発信機装着個体の追跡等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS等電波発信機装着個体及び属する群れの行動追跡調査を実施し、遊動域の変化や利用環境の特性等について解明を行う。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地域住民、市町等の関係者からの聞き取りとGPS等電波発信機装着個体の追跡等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS等電波発信機装着個体及び属する群れの行動追跡調査を実施し、遊動域の変化や利用環境の特性等について解明を行う。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地域住民、市町等の関係者からの聞き取りとGPS等電波発信機装着個体の追跡等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS等電波発信機装着個体及び属する群れの行動追跡調査を実施し、遊動域の変化や利用環境の特性等について解明を行う。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p>





令和3年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村実施分)

ニホンザル

白石市	19
角田市	20
蔵王町	21
七ヶ宿町	22
川崎町	23
丸森町	24
仙台市	25
山元町	26
加美町	27

令和4年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

白石市

R3計画		R3実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 2.68 ha R2被害実績→ 3.33 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 3,029 千円 R2被害実績→ 4,913 千円 (3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 1.57 ha (2) 金額 2,847 千円 (3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類 (4) その他			防護柵等により、防除を行っているが、出没範囲が拡大しており、これまで被害のなかった区域での被害が目立つ。引き続き追い上げや捕獲、防除対策を強化していく。
2 被害防除対策 (1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底	2 被害防除対策 (1) 実施隊による銃器での追い上げ、捕獲を実施した。追い払い用火を配布した。 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を行った。 (3)			R3年度被害対策費合計 1,660 千円 花火に慣れた個体や群れもあり、効果が一時的である。 34件1,491,000円を補助し、被害を軽減できた。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 100 頭 (群れ捕獲実施予定)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 8 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 1 頭			捕獲目標にある群れ捕獲は実現できなかつた。 被害拡大の進んでいる齋川地区の群れに発信機を装着し、生息域の監視を行う。
4 生息環境管理 (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進	4 生息環境管理 (1) 水田周辺の除草作業を推進するよう、啓発を図った。 (2) 水田周辺の除草作業を推進するよう、啓発を図った。			急傾斜等による田畑の管理が困難な場所が多く、耕作放棄地も増加しており、地域全体の環境管理が進まない。
5 その他 (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る	5 その他 (1) 被害防除の情報を提供し、自己防除の啓発を図ることができた。			研修会を開催し、自己防除の啓発を図ることができた。

令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

角田市

R3計画	R3実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.00 ha R2被害実績→ 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 0千円 R2被害実績→ 0千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 0千円</p> <p>(3) 作物 トウモロコシ、ジャガイモ、びわ等</p> <p>(4) その他</p>	<p>ハナレザルによる農作物被害の発生はあったが、軽微なものであった。実施隊員による追い払い、定期パトロール等、また、農業者による追い払いにより被害を最小限にとどめることができた。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>食べない野菜、果実等放置の防止を周知</p> <p>(1) 定期的パトロールの実施</p> <p>(2) 銃器による追い払い、捕獲の実施</p> <p>(4) 被害内容に応じた諸対策の提案</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 機会を捉えエサとなるものを放置しないよう呼びかけた。</p> <p>(2) 7月初旬から翌年3月初旬まで、実施隊員による定期的パトロールを実施した。</p> <p>(3) 定期的パトロール時や出没时间に追い払い、捕獲を実施した。捕獲はなかった。</p> <p>(4) 被害相談等の際に、自宅の戸締りや同作業場に収穫作物を置かないことを指導、また電気柵設置等の被害対策を紹介した。</p>	<p>R3年度被害対策費合計 685千円</p> <p>住民に対し、食物残さや収穫物をニホンザルが発見しやすい場所に置かないなど、被害を呼び寄せない対策を推奨するとともに、実施隊員2名による定期パトロールや追い払い等により、ごく軽微な被害にとどめた。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 10頭</p> <p>発信機装着の増設数 0頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0頭</p> <p>発信機装着の増設数 0頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0頭</p>	<p>昨年に引き続き捕獲に努めたが、捕獲実績はなかった。しかし、結果として巡回による被害抑止が図られた。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>実施隊パトロール等による生息域の非拡大</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊員により、被害防止パトロールを実施した。</p>	<p>実施隊員による定期パトロールは、地域の出没情報の収集や被害抑止に効果的であり、生息環境の拡大防止に有効と推量される。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 住民の被害防止意識の啓発、向上</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 被害相談時に防止のための自己防止対策等を提案した。</p>	<p>依然として住民の被害防止意識の向上が課題であり、引き続き被害防止のための備え等、意識向上に努めていくことが引き続き重要な視点と思料される。</p>

令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

蔵王町

R3計画		R3実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.01 ha R2被害実績→ 0.04 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 20 千円 R2被害実績→ 36 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	0.07 ha  29 千円  作物 林檎、スイートコーン、白菜、長芋 その他	被害軽減目標 (1) 面積 (2) 金額 (3) 作物 (4) その他	被害軽減目標 (1) 面積 (2) 金額 (3) 作物 (4) その他	山の裏りが良かったため、防除対策を強化することにより、里山への出没が少なくなり、農作物への被害が前年度より減少した。 結果、被害面積、被害金額共に目標を達成できなかつたものの被害金額は昨年より下回ることができたため、今後も対策を強化することで目標を達成できるよう努めたい。
2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかつた。 (3) 目撃報告等があつた農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲実績 2頭 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかつた。 (3) 目撃報告等があつた農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲実績 2頭 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかつた。 (3) 目撃報告等があつた農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲実績 2頭 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかつた。 (3) 目撃報告等があつた農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	R3年度被害対策費合計 18,415 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 12,750 千円 ・野生鳥獣被害防除施設(電気柵等)設置事業補助金 4,457 千円 ・蔵王町狩猟免許取得促進事業補助金 1,208 千円 近年、サルの目撃情報が徐々に増加しており、現在までサルの目撃報告がなかつた地域でもハナレザルの目撃報告が寄せられているため、今後も追払い活動や防除対策等を継続して実施し、今後も群れが生息していない環境を維持していき
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 生息調査の実施。 (2)	個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 2 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 従来の子レトリー法を用いた位置特定調査に加え、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を (2)	個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 従来の子レトリー法を用いた位置特定調査に加え、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を (2)	個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 従来の子レトリー法を用いた位置特定調査に加え、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を (2)	今後もGPS発信機を用いた生息調査を継続的に実施し、群れの個体数や遊動域、利用地域の変化を追うだけでなく、群れのより詳細な利用場所の把握を試み、今後の対策や方針を検討するための基礎データを収集していく。
4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。	生息環境管理 (1) 目撃や被害報告があつた農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。	生息環境管理 (1) 目撃や被害報告があつた農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。	生息環境管理 (1) 目撃や被害報告があつた農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。	山の裏りが良かったものの、防除対策を強化することにより、里山への出没は少なくなつた。 また、耕作地又は宅地と生息地である森林等との間を除草することにより、人気の少ない山林付近の農地又は宅地でも出没を大幅に減少させる効果がみられた。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。	その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。	その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。	その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会と連携して必要な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。	今後も引き続き南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。

令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

R3計画		R3実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.31 ha R2被害実績→ 0.35 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 396 千円 R2被害実績→ 441 千円 (3) 作物 水稲、野菜の被害の軽減 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.02 ha (2) 金額 26 千円 (3) 作物 野菜 (4) その他			昨年度と比べ被害面積及び被害額が減少した。要因としては、電気柵とワイヤーメッシュの複合柵の整備、電気柵等設置に係る費用の補助が考えられ、今後も継続して行っていく。
2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追払いの実施	2 被害防除対策 (1) 電気柵等の設置の推奨を行った。 (2) 追払い活動を重点的に行った。			R3年度被害対策費合計 29,168 千円 電気柵等の設置により被害を減少するに至った。未設置の田畑を中心に被害があったため、電気柵等設置推奨を、今後も継続して行っていく。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 75 頭 発信機装着の増設数 5 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) 生息調査の実施			前年度に引き続き、発信器取り付けを行った。また、有害捕獲については、電気柵設置の効果があり、人里へ下りてくる回数が減少し、75頭の捕獲に至った。
4 生息環境管理 (1) 取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減	4 生息環境管理 (1) 広報は行ったが大幅な軽減には至らなかった。			指導方法の改善及び周知の徹底、追い払い隊による呼びかけ等を積極的に行う必要がある。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施	5 その他 (1) 効率的な追い払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した。			今後も継続して、効率的な追い払い活動及び生息調査の実施を行う。

令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

R3計画		R3実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.11 ha R2被害実績→ 0.16 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 138 千円 R2被害実績→ 198 千円 (3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・かぼちゃ (4) その他	被害軽減目標 (1) 面積 0.93 ha (2) 金額 629 千円 (3) 作物 豆類、果樹、野菜、芋類 (4) その他			年々農作物被害が増加しているが、町へ被害報告を行わない農家が増加しており、被害面積及び被害金額の実態把握が困難になっている。
2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助	被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助		R3年度被害対策費合計 10,772 千円 ①R3農作物有害鳥獣駆除対策業務金 3,906千円 ②南奥羽サルパトロール 1,260千円 ③電気柵補助金 5,606千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む)	
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数	個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 45 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭			捕獲については、町被害防止計画に基づき捕獲を実施した。 被害は年々増加傾向にあるため、農家への電気柵等の防護柵の普及を推進する。
4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。			実施なし。
5 その他	5 その他			

令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

丸森町

R3計画		R3実績		評価
1 被害軽減目標	1 被害軽減目標	0.11 ha	0.11 ha	
(1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.07 ha R2被害実績→ 0.08 ha	(1) 面積 0.11 ha			
(2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 156千円 R2被害実績→ 179千円	(2) 金額 179千円			
(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根	(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根			
(4) その他	(4) その他			
2 被害防除対策	2 被害防除対策			
(1) 住民による自主防除対策への支援	(1) 住民による自主防除対策への支援			
(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施	(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施			
(3)	(3)			
3 個体数管理	3 個体数管理	0頭 36頭 3頭 0頭	0頭 36頭 3頭 0頭	
個体数調整による目標捕獲数	個体数調整による目標捕獲数			
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	有害鳥獣捕獲による想定捕獲数			
発信機装着の増設数	発信機装着の増設数			
発信機装着の更新基数	発信機装着の更新基数			
4 生息環境管理	4 生息環境管理			
(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。	(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかけた。			
5 その他	5 その他			
(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。	(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行った。			
(2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。	(2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図った。			

鳥獣被害対策実施隊が銃器による追払い及び捕獲を2人体制で実施(年間延べ154日)し、一定の効果を得ている。

R3年度被害対策費合計 1,617千円  
電気柵設置に対する補助により、受益者負担の軽減が図られ所期の目的が図られた。  
鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 1,617千円

広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。  
サルの群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的に行われている。

9月1日に町内全戸に耕作放棄地の除草や山林の適正な管理をお願いするチラシを配付した。

広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。  
サルの群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的に行われている。



令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

R3計画		R3実績		評価
1 被害軽減目標	<p>(1) 面積 2.1a未満</p> <p>(2) 金額 21千円未満</p> <p>(3) 作物 野菜（トウモロコシ、カボチャ、ニンジン、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、サトイモ） 果樹（カキ、クリ、イチジク）等</p> <p>(4) その他（人身被害・生活被害） 生活被害や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.16a</p> <p>(2) 金額 5千円</p> <p>(3) 作物 なす、大根、かぼちゃ、大豆、柿、きゅうり</p> <p>(4) その他（人身被害・生活被害） 人身被害なし 生活被害あり</p>	被害面積及び金額について、目標を達成することができた。	
2 被害防除対策	<p>(1) 日常的な啓発・注意喚起</p> <p>・市HP「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供。</p> <p>・市HPや啓発チラシにより、サルとの適切な接し方や被害防止対策、農作物収穫後の残さ処理等について啓発。</p> <p>・啓発チラシを公共施設等へ配架。</p> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応</p> <p>・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防除対策の助言・指導</p> <p>・必要に応じて、花火による追い払いを実施</p> <p>・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起</p> <p>・市HP「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供。</p> <p>・市HPや啓発チラシにより、サルとの適切な接し方や被害防止対策、農作物収穫後の残さ処理等について啓発。</p> <p>・啓発チラシを公共施設等へ配架。</p> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応</p> <p>・必要に応じて、花火による追い払いや、出没地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施。</p> <p>・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わな等による捕獲を実施。また、秋保総合支所管内で大規模追い上げ・捕獲を実施。</p>	R3年度被害対策費合計6,760千円 計画どおり日常的な啓発や、追い払い・捕獲を実施したことに加え、サルの群れの動向を地域の方向けに公開する「サル群れ情報マップ」を提供。	
3 個体数管理	<p>有害鳥獣捕獲における想定捕獲数 130頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 13頭（GPS発信機装着の1頭を含む）</p> <p>(1) 群れの位置情報の把握</p> <p>・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握</p> <p>(2) 捕獲対策（人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応）</p> <p>・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施</p> <p>・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施（6基）</p> <p>・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>想定捕獲数 56頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 13頭</p> <p>(1) 群れの位置情報の把握</p> <p>・市内に生息する群れ16群のうち、12群に電波発信機を装着。</p> <p>(2) 捕獲対策（人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応）</p> <p>・箱わなによる捕獲 29頭</p> <p>・大型捕獲施設による捕獲 19頭</p> <p>・銃器による捕獲 9頭</p>	有害鳥獣捕獲による捕獲を行った。 想定捕獲数を下回ったものの、秋保地区と宮城地区で合計6基の大型捕獲施設を稼働したことにより、大型捕獲施設による捕獲数は全体の3分の1であった。 また、電波発信機の装着については、目標頭数を達成した。	
4 生息環境管理	<p>群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施</p> <p>・出没地域周辺の刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>・群れの位置情報の把握を随時行うとともに、市鳥獣被害対策実施隊が主体となり、追い上げや捕獲を実施。</p>	計画どおり広報啓発及び追い上げ・捕獲等を実施。	
5 その他		その他		

令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

R3計画		R3実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.03 ha R2被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 108 千円 R2被害実績→ 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他		1 被害軽減目標 (1) 面積 0.00 ha (2) 金額 0 千円 (3) 作物 (4) その他		目撃情報は寄せられたが、被害等はなかった。
2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を經由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追払い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。		2 被害防除対策 (1) (2) (3)		R3年度被害対策費合計 3,607 千円  被害等が増えるようであれば様々な防除策を検討する必要がある。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1)		3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1)		今後は、初動対応として追い払い用の花火を農家個々で実施してもらい、それでも被害が拡大するようであれば捕獲等の対応をしていく必要がある。
4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		放置された未収穫物等が誘因の原因(餌付け)になっっていることも考えられるため、引き続き農家に周知を徹底する必要がある。
5 その他		5 その他		

令和3年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

R3計画		R3実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 1.25 ha R2被害実績→ 3.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 371 千円 R2被害実績→ 911 千円 (3) 作物 (4) その他	1.30 ha 806 千円	被害軽減目標 (1) 面積 (2) 金額 (3) 作物 水稲、野菜、果樹、いも類、野菜 (4) その他	被害については昨年と同程度の被害となった。 目撃情報から、地域に生息する群れの状況も変化していることが見受けられる。	
2 被害防除対策 (1) 電気柵による畑への侵入防止。 (2) 被害防除機材への導入助成。 (3) 音火花による追払い。 (4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇 (5) サル用囲いわなによる捕獲	被害防除対策 (1) 電気柵による畑への侵入防止。 (2) 被害防除機材への導入助成。 (3) 音火花による追払い。 (4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇 (5) サル用囲いわなによる捕獲	R3年度被害対策費合計 41,566 千円	サル被害については昨年と同程度だが、囲い 罠により群れが捕獲されたので、今後も捕獲を中 心に被害対策に努める。	
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による目標捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) (2)	個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 12 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) 箱わなによる捕獲頭数の向上 (2) 実施隊によるパトロール	サルの囲いわなが有効に感じている。 引続き確保に努める。		
4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕作放棄地の刈払いの推進	生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕作放棄地の刈払いの推進			
5 その他 (1) 町HPでの捕獲事業の周知	その他 (1) 町HPでの捕獲事業の周知			



令和4年度

ニホンザル管理事業実施計画書(市町村実施分)

白石市	31
角田市	32
蔵王町	33
七ヶ宿町	34
川崎町	35
丸森町	36
仙台市	37
山元町	38
大和町	39
加美町	40

令和4年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和4年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

白石市

R3計画	R4計画	備考
<p>1 被害軽減目標                      (1) 面積(下段前年度実績)                      R3被害軽減目標値→ 2.68 ha                      R3被害実績値→ 3.33 ha                      (2) 金額(下段前年度実績)                      R3被害軽減目標値→ 3,029 千円                      R3被害実績値→ 4,913 千円                      (3) 作物                      稲、果樹、野菜、いも類                      (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標                      (1) 面積(下段前年度実績)                      R4被害軽減目標値→ 2.61 ha                      R4被害実績値→ 1.57 ha                      (2) 金額(下段前年度実績)                      R4被害軽減目標値→ 2,947 千円                      R4被害実績値→ 2,847 千円                      (3) 作物                      稲、果樹、野菜、いも類                      (4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策                      (1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施                      (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助                      (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底</p>	<p>2 被害防除対策                      (1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施                      (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助                      (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底</p>	
<p>3 個体数管理                      個体数調整による目標捕獲数 0 頭                      有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 100 頭                      (群れ捕獲実施予定)</p>	<p>3 個体数管理                      個体数調整による目標捕獲数 0 頭                      有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭                      発信機装着の増設数 0 頭                      発信機装着の更新基数 0 頭</p>	
<p>4 生息環境管理                      (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進                      (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進</p>	<p>4 生息環境管理                      (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進                      (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進</p>	
<p>5 その他                      (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る</p>	<p>5 その他                      (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る</p>	

令和4年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

角田市

R3計画		R4計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.00 ha R2被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 0千円 R2被害実績→ 0千円 (3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0.00 ha R3被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0千円 R3被害実績→ 0千円 (3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類 (4) その他			
2 被害防除対策 (1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知 (2) 定期的パトロールの実施 (3) 銃器による追い払い、捕獲の実施 (4) 被害内容に応じた諸対策の提案	2 被害防除対策 (1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知 (2) 定期的パトロールの実施 (3) 銃器による追い払い、捕獲の実施 (4) 被害内容に応じた諸対策の提案			年間被害対策費合計 1,619千円
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 10頭 発信機装着の増設数 0頭 発信機装着の更新基数 0頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 5頭 発信機装着の増設数 0頭 発信機装着の更新基数 0頭			
4 生息環境管理 (1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大	4 生息環境管理 (1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大			
5 その他 (1) 住民の被害防止意識の啓発、向上	5 その他 (1) 住民の被害防止意識の啓発、向上			



令和4年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

蔵王町

R3計画		R4計画		備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.01 ha R2被害実績→ 0.04 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 20千円 R2被害実績→ 36千円</p> <p>(3) 作物 林檎、白菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.01 ha, R3被害実績→ 0.07 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 20千円 R3被害実績→ 29千円</p> <p>(3) 作物 林檎、白菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>面積、金額ともに令和元年度の90%に抑えることを目標としている。</p> <p>元年度被害面積 0.01 ha 元年度被害金額 22千円</p> <p>有害鳥獣被害対策実施隊員によるサル見回りパトロール及び有害鳥獣駆逐用花火による被害防除を実施。</p>	<p>年間被害対策費合計 14,927千円</p> <p>・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 10,250千円</p> <p>・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 4,000千円</p> <p>・蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 677千円</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>			
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50頭</p> <p>発信機装着の増設数 0頭</p> <p>発信機装着の更新基数 2頭</p> <p>(1) 生息調査の実施。</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50頭</p> <p>発信機装着の増設数 0頭</p> <p>発信機装着の更新基数 2頭</p> <p>(1) 生息調査の実施。</p> <p>(2)</p>			
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p>			
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。</p>			

令和4年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

七ヶ宿町

R3計画		R4計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.31 ha R2被害実績→ 0.35 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 396 千円 R2被害実績→ 441 千円 (3) 作物 水稻、野菜の被害の軽減 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.01 ha R3被害実績→ 0.02 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 20 千円 R3被害実績→ 26 千円 (3) 作物 水稻、野菜の被害軽減 (4) その他	2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追い払いの実施	2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追い払いの実施	年間被害対策費合計 118,114 千円
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) 生息調査の実施	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) 生息調査の実施	七ヶ宿町鳥獣被害防止計画に基づき明記。  生息調査の実施により、群れの流動域や個体数を把握し、農作物の被害軽減を図る。
4 生息環境管理 (1) 取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減	4 生息環境管理 (1) 農作物収穫残渣の除去 (2) 耕作放棄地の軽減	4 生息環境管理 (1) 農作物収穫残渣の除去 (2) 耕作放棄地の軽減	4 生息環境管理 (1) 農作物収穫残渣の除去 (2) 耕作放棄地の軽減	行政区長や防災無線、広報誌等を活用し周知を行う。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施	南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会に参画し、隣接自治体等と情報共有を図り、効果的な被害対策を実施する。

令和4年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

川崎町

R3計画		R4計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.11 ha R2被害実績→ 0.16 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 138 千円 R2被害実績→ 198 千円 (3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・かぼちゃ (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.65 ha R3被害実績→ 0.93 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 440 千円 R3被害実績→ 629 千円 (3) 作物 豆類、果樹、野菜、芋類 (4) その他	2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助	2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助	年間被害対策費合計 12,801 千円 ①R4農作物有害鳥獣駆除対策業務金 4,155千円 ②サルパトロール 1,260千円 ③電気柵補助金 7,000千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む) ④狩猟免許取得補助金 386千円
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭	
4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	
5 その他	5 その他	5 その他	5 その他	

令和4年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

丸森町

R3計画	R4計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.07 ha R2被害実績→ 0.08 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 156 千円 R2被害実績→ 179 千円 (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.10 ha R3被害実績→ 0.11 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 162 千円 R3被害実績→ 179 千円 (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根 (4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 (3)</p>	<p>2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 (3)</p>	<p>年間被害対策費合計 4,490 千円 ・電気柵設置に対する補助 2,390千円 ・追払い用花火 2,100千円 ・鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い</p>
<p>3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 3 頭 発信機装着の更新基数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 3 頭</p>	
<p>4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。</p>	
<p>5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	<p>5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	

令和4年度二ホンザル管理事業実施計画

仙台市

R3計画	R4計画	備考
<p><b>1 被害軽減目標</b></p> <p>(1) 面積 2.1a未満                      (2) 金額 21千円未満                      (3) 作物 野菜 (トウモロコシ、カボチャ、ニンジン、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、サトイモ) 果樹 (カキ、クリ、イチジク) 等                      (4) その他 (人身被害・生活被害)                      生活被害や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p><b>1 被害軽減目標</b></p> <p>(1) 面積 2.1a未満 (R3被害面積 0.16a)                      (2) 金額 21千円未満 (R3被害金額 5千円)                      (3) 作物 野菜 (トウモロコシ、カボチャ、ニンジン、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、サトイモ) 果樹 (カキ、クリ、イチジク) 等                      (4) その他 (人身被害・生活被害)                      生活被害や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>仙台市鳥獣被害防止計画 (令和2年度策定)における被害軽減目標 (令和5年度)の達成を図る。</p>
<p><b>2 被害防除対策</b></p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供</li> <li>・サルとの適切な接し方や被害防除対策について、市HP掲載や公共施設等への啓発チラシの配架等により周知啓発</li> </ul> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防除対策の助言・指導</li> <li>・必要に応じて、火花による追い払いを実施</li> <li>・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</li> </ul>	<p><b>2 被害防除対策</b></p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供</li> <li>・サルとの適切な接し方や被害防除対策について、市HP掲載や公共施設等への啓発チラシの配架等により周知啓発</li> </ul> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防除対策の助言・指導</li> <li>・必要に応じて、火花による追い払いを実施</li> <li>・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</li> </ul>	
<p><b>3 個体数管理</b></p> <p>有害鳥獣捕獲における想定捕獲数 130頭                      発信機装着の増設・更新数 13頭 (GPS装着の1頭を含む)</p> <p>(1) 群れの位置情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握</li> </ul> <p>(2) 捕獲対策 (人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施</li> <li>・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施 (6基)</li> <li>・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</li> </ul>	<p><b>3 個体数管理</b></p> <p>有害鳥獣捕獲における想定捕獲数 91頭                      発信機装着の増設・更新数 13頭 (GPS装着の1頭を含む)</p> <p>(1) 群れの位置情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握</li> </ul> <p>(2) 捕獲対策 (人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施</li> <li>・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施 (6基)</li> <li>・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</li> </ul>	
<p><b>4 生息環境管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施</li> <li>・出没地域周辺の刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨</li> </ul> <p><b>5 その他</b></p>	<p><b>4 生息環境管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施</li> <li>・出没地域周辺の刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨</li> </ul> <p><b>5 その他</b></p>	

令和4年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

山元町

R3計画	R4計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.03 ha R2被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 108 千円 R2被害実績→ 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.03 ha R3被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 108 千円 R3被害実績→ 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物を適正処理するよう農家へ周知。</p>	<p>2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物を適正処理するよう農家へ周知。</p>	<p>年間被害対策費合計 533 千円 実施隊日当 137,250円 危険手当 200,000円 サル捕獲作業委託料 195,400円</p>
<p>3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1)</p>	<p>3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1)</p>	<p>住民からの目撃情報や被害状況があれば、できる限り現場確認し、情報収集に努める。</p>
<p>4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	<p>4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

令和4年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

大和町

R3計画	R4計画	備考
<p>1 被害軽減目標                      (1) 面積(下段前年度)                      R3被害軽減目標値→ ha                      R2被害実績→ ha                      (2) 金額(下段前年度実績)                      R3被害軽減目標値→ 千円                      R2被害実績→ 千円                      (3) 作物                      (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標                      (1) 面積(下段前年度)                      R4被害軽減目標値→ 0.00 ha                      R3被害実績→ 0.00 ha                      (2) 金額(下段前年度実績)                      R4被害軽減目標値→ 0 千円                      R3被害実績→ 0 千円                      (3) 作物                      (4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策                      (1)                      (2)                      (3)                      (4)                      (5)</p>	<p>2 被害防除対策                      (1) 電気柵、防護柵の設置に対する補助                      (2)                      (3)                      (4)                      (5)</p>	
<p>3 個体数管理                      個体数調整による目標捕獲数                      有害鳥獣捕獲による想定捕獲数                      発信機装着の増設数                      発信機装着の更新基数                      (1)                      (2)</p>	<p>3 個体数管理                      個体数調整による目標捕獲数                      有害鳥獣捕獲による想定捕獲数                      発信機装着の増設数                      発信機装着の更新基数                      (1)                      (2)</p>	<p>0 頭                      0 頭                      0 頭                      0 頭</p>
<p>4 生息環境管理                      (1)                      (2)</p>	<p>4 生息環境管理                      (1) 耕作放棄地の除草の呼びかけ</p>	
<p>5 その他                      (1)</p>	<p>5 その他                      (1)</p>	

令和4年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

加美町

R3計画		R4計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 1.25 ha R2被害実績→ 3.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 371 千円 R2被害実績→ 911 千円 (3) 作物 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 1.04 ha R3被害実績→ 1.30 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 644 千円 R3被害実績→ 806 千円 (3) 作物 (4) その他	2 被害防除対策 (1) 電気柵による畑への侵入防止。 (2) 被害防除機材への導入助成。 (3) 音火花による追払い。 (4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇 (5) サル用囲いによる捕獲	2 被害防除対策 (1) 電気柵による畑への侵入防止。 (2) 被害防除機材への導入助成。 (3) 音火花による追払い。 (4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇 (5) サル用囲いによる捕獲	年間被害対策費合計 44,781 千円 町鳥獣被害防止対策協議会助成事業を活用する。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) (2)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) (2)	4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕作放棄地の刈払いの推進	4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕作放棄地の刈払いの推進	広報誌等での警護活動
5 その他 (1) 町HPでの捕獲事業の周知	5 その他 (1) 町HPでの捕獲事業の周知			